

詰め替えインク交換後の作業

詰め替えインクを交換しても、インク残量の表示が増えない場合（※プリンターの機種によって多少異なります）、**「インク残量検出機能の無効化」**を行う必要がございます。

残量検知機能の無効化についてはこちらも併せてお読みください。

※純正インクカートリッジは、ICチップのデータからインクの使用量を計算して残量を表示している為です。

そのため、インク残量検知機能の無効化の設定が必要となります。

※この作業方法についてはプリンターメーカーとは無関係であり、承認されたものではありません。

※一度この設定をすることで、以降は詰め替えインクがご使用いただけます。

プリンターのエラーランプが点滅したり、パソコンモニター上でエラー表示が出る場合は、再度この操作を行ってください。

※インク残量検知機能を無効にした後はインク残量警告やインク残量が表示されませんので、印刷の際はあらかじめノズルチェックパターンなどでインクの有無を確認しながら行ってください。

※インク残量検知機能はカートリッジを再び新品カートリッジに替えることにより、有効になります。

インク残量検知機能無効化について

インク残量検知無効化の前に知っておいていただきたいこと

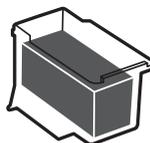
プリンターが認識するインク残量は、インクカートリッジの重さなどで検知しているわけではなく、印字ドット数などを管理し**推測している残量**になります。

インク残量検知機能無効化とは、アラートが出て印刷できなかった状態を機能をOFFにすることで印刷をできるようにすることです。

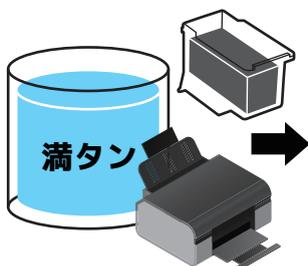
インク残量検知機能無効化 ≠ 残量表示復活



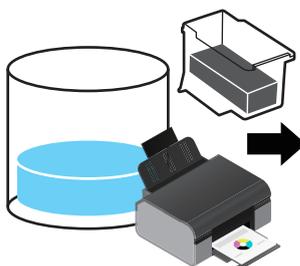
ICチップが
推測している
インク残量



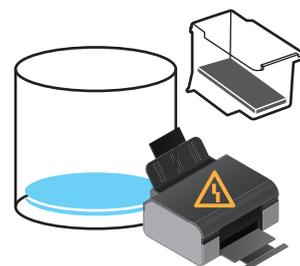
実際の
インク残量



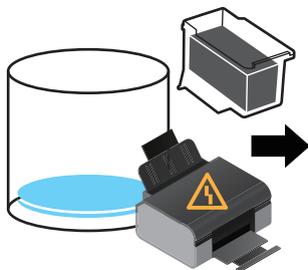
純正インク
新品を装着



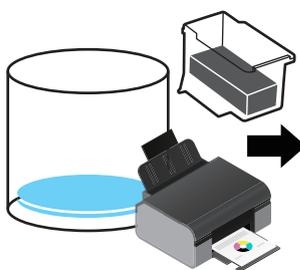
印刷



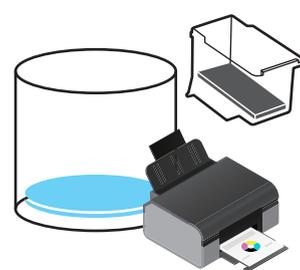
インク残量
アラート



詰め替えインク
満タンを装着



印刷



印刷のカスレ等で
交換・補充

プリンターのストップボタン（またはリセットボタン）を5秒以上長押しでインク残量検知機能を無効化で印刷可能

インクが少なくなっています

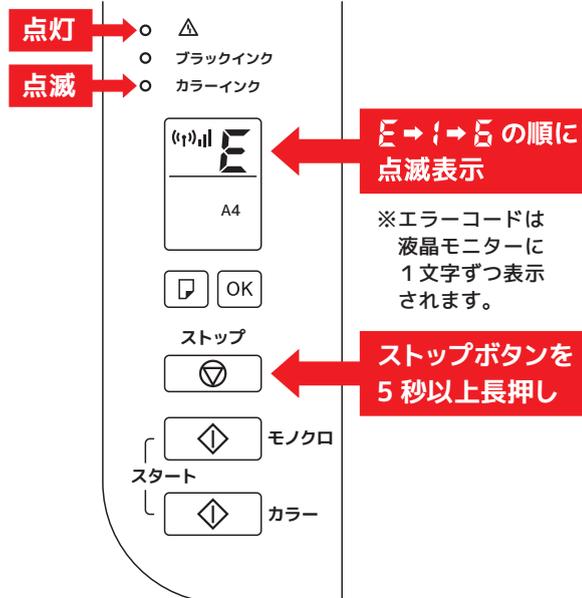
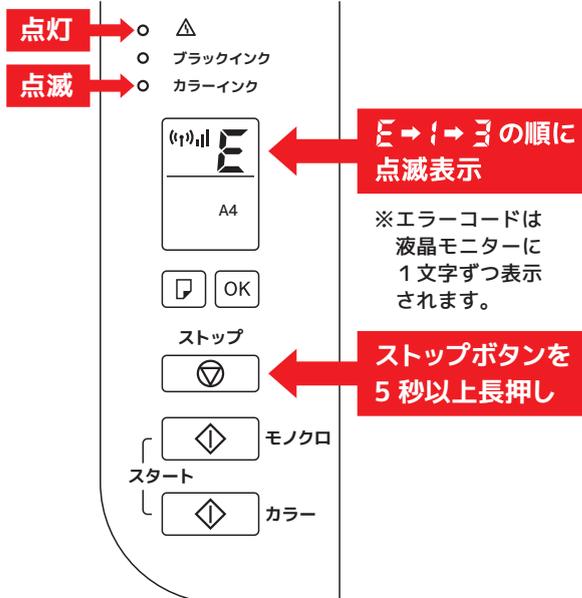
エラーコード=E13

サポート番号=1686

インクがなくなりました

エラーコード=E16

サポート番号=1688



プリンターのストップボタンを5~10秒、長押ししてください。
プリンター本体のインク残量検出機能が無効化されます。